

ミニレター

# あぜみち通信

\* \* \* \* \*

平成24年12月1日

144号

編集・発行：愛知県農業会議

## 都道府県農業会議会長会議が開催されました

11月13日に東京都千代田区の「蚕糸会館」において、都道府県農業会議会長会議が開催されました。

二田全国農業会議所会長の挨拶後、茨城、佐賀、熊本、鹿児島県各農業会議会長の異動報告がありました。

協議事項では、平成25年度農業委員会関係予算概算要求の状況、人・農地プランの作成と実現に向けた推進体制の強化、農の雇用事業の拡充内容等の説明がされました。

次に、平成24年12月6日開催予定の平成24年度全国農業委員会会長代表者集会の要請・申し合わせ事項等について要請内容等の協議がされました。

引き続き、TPPをめぐる情勢について、平成25年度農林税制改正について、都市農業をめぐる情勢について、また、行政刷新会議等で検討されている「農業委員会のあり方の見直し」をめぐる情勢等、当面の農政対策について各内容説明が行われました。

## 常任会議員会議（11月）の審議状況について

11月15日に「愛知県白壁庁舎」において、農地法等に係る愛知県知事からの諮問に対する答申を審議する常任会議員会議を開催しました。

11月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案34件（平成23年11月21件）、10,066㎡（同11,412㎡）、同法5条に基づく転用事案223件（同203件）、165,995㎡（同156,123㎡）についてそれぞれ審議し、いずれも原案どおりで差し支えない旨承認されました。

また、土地区画整理法第136条に基づく土地区画整理事業1件、施行面積32,300㎡（関係農地面積11,367㎡）について審議し、諮問のとおり事業計画を進めることは差し支えない旨答申することで承認されました。

## 平成24年度愛知県農業委員会事務研究会総会が開催されました

11月16日に名古屋市中区の「愛知県水産会館」で、平成24年度愛知県農業委員会事務研究会総会が、市町村農業委員会事務職員の資質の向上や所掌事務の効率化、会員相互の研鑽と親睦を図ることを目的に開催されました。

事務研究会の杉元央会長(豊橋市農業委員会)の挨拶後、平成23年度の事業報告や平成24年度の事業計画、役員改選などの議案が提出され、各議案とも会員出席者多数の賛成で可決承認されました。

また、役員改選が行われ、会長には、豊橋市農業委員会杉元央さんが再任され、副会長には、豊田市農業委員会の柴田徹哉さん、東海市農業委員会の大村金治さんが選出されたほか、監事には弥富市農業委員会の半田安利さん、西尾市農業委員会の斉藤邦彦さんが選出されました。

総会終了後に研修会が行われ、名古屋国税局課税第一部資産課税課監理第四係係長藤原啓明氏を講師に迎え「農地等に係る贈与税・相続税納税猶予制度について」講演をいただきました。

講師からは、納税猶予制度の概要について説明があったほか、特に期限の確定事由が発生した場合の農業委員会から税務署への通知を適切行って欲しい旨のお願いがありました。

## 農地制度実施円滑化事業による市町村巡回支援を実施しています

平成24年度第1回目の市町村農業委員会への巡回支援を、9月13日から各農業委員会事務局を対象に実施しています。

11月の実施状況は、11月5日に稲沢市、11月6日に東海市、知多市、11月7日に大府市、11月12日に瀬戸市、尾張旭市、日進市、長久手市、東郷町、名古屋市、11月14日に一宮市、11月22日犬山市、江南市、岩倉市、大口町、扶桑町を対象に巡回支援を実施しました。

支援の内容は、利用状況調査の実施と課題、農地基本台帳の補足調査等の実施と課題、人・農地プランへの農業委員会の参画状況、農業者等との意見交換会の開催状況等の聞き取り調査と各農業委員会の担当者が行っている実務上の課題、問題点等の解決方法等を話し合っています。

特に、利用状況調査の実施後の意向確認の実施、改正農地法施行後の農地基本台帳の整備についての留意点、人・農地プラン推進に向けた農業委員会「秋・冬の陣」の取り組みなどについて情報を提供するとともに、活発な意見交換を行っています。

今後、未実施市町村と農業会議と日程調整を行い、県内全ての農業委員会を対象に巡回支援を実施する予定をしておりますので、ご協力をお願いします。

### 第13回愛知県JA大会が開催されました

11月16日に中区金山の「日本特殊陶業市民会館」において、大村秀章愛知県知事、森多可志東海農政局長、小林功愛知県議会議長、川上万一郎農業会議会長等多くの方が出席され、県下の農業協同組合長等関係者の参加により盛大に大会が開催されました。

この大会は、向こう3年間のJAグループ愛知が目指すべき道筋とその実現に向けて具体的に取り組むべき共通の対応方針を確認する場であり、また、JA運動の範となる優良JA、功労者等に感謝するものとして3年に1回開催されるものであります。

表彰として、愛知県知事表彰、大会会長表彰、同感謝状、農業協同組合功労者・特別功労者等の表彰が行われました。

引き続き、本県農業・JAを取り巻く情勢と課題の報告後、「担い手支援と農地有効活用による本県農業生産力の向上に関する決議」始め3決議と「実践に向けて取り組むべき実践方策」、「TPP交渉参加阻止に向けた運動展開に関する特別決議」が全員の賛同を得て可決・宣言されました。

また、大会開催に先立ち、東京大学名誉教授養老孟司氏が「マニュアルのない世界を生きる」と題して記念講演が行われました。

### 平成24年度東海・近畿ブロック女性農業委員研修会が開催されました

11月13日に静岡県浜松市の「グランドホテル浜松」で平成24年度東海・近畿ブロック女性農業委員研修会が開催されました。

「しずおか女性農業委員の会」古見会長が、昨年3月に全国女性農業委員ネットワークが設立され、6つのブロックに分かれて研修会を開催しているが、本日は、昨年の滋賀県に続き第2回目の研修会が開催できた。

また、現在、「しずおか女性農業委員の会」は、会員数46人、1委員会で複数の女性の登用等に向けて活動していることや農地法等の基礎知識の研修、女性の特長を活かした活動が期待される中、昨年6月に食育カルタを作成し、普及啓発等に取り組んでいることなど活動状況が紹介されました。

研修は、関東農政局経営支援課宮下女性・高齢者係長が「農林水産業及び農山漁村の活性化のための女性の能力の積極的な活用について」、埼玉県女性農業委員協議会横田会長が「女性農業委員の役割について」講演が行われました。

引き続き、「女性農業委員として出来ること」をテーマに、出席者が7グループに別れてグループディスカッションを行い、遊休農地の解消にむけた保育園児童への食育推進、農地銀行の活用、獣害対策や6次産業化に向けた取り組みなど得意な分野で活躍し、力をつけてしっかり意見が言えるような女性農業委員を目指した活動に取り組む必要など活発な意見交換が行われました。

## **平成24年度北陸・東海ブロック農業者年金業務担当者及び総合指導員会議が開催されました**

11月5日から6日に岐阜市内の「じゅうろくプラザ」及び「ハートフルスクエア-G」において、独立行政法人農業者年金基金による、平成24年度北陸・東海ブロック農業者年金業務担当者及び総合指導員会議が開催されました。

独立行政法人農業者年金基金勝又博三理事から、農業者年金の安全、安心な資産運用の状況、新3カ年計画の最終年度を迎え、現在の加入状況と新規加入者のアンケート結果等について報告がされました。

引き続き、農業者年金基金小倉幸夫企画調整室長から、平成24年度下半期の加入推進重点取り組みについて、加入推進部長の設置、加入推進特別研修会等特別対策の見直しについて説明があり、各県出席者による意見交換が行われました。

2日目は、農業者年金基金鈴木章適用・収納課長から、国民年金と農業者年金との被保険者資格記録の不突合の解消について、未納保険料の解消に向けた取り組みについて、佐藤康彦給付課課長補佐から、現況届未提出者に対する指導について、死亡情報の支払保留の周知徹底について、農地等の貸借事業の活用について、井上龍美情報管理課長から、電子情報システムの完全普及に向けた対応について、農業者年金記録管理システムの開発状況について、細谷和憲資金部企画課課長補佐から、平成24年度第2四半期までの年金資産の運用について、平成23年度運用(付利)結果のお知らせに係る電話照会状況について説明がありました。

最後に、勝又博三理事から、加入推進に向けた巡回指導、戸別訪問等の一層の取り組み強化のお願いがあり会議を終了しました。

## **東海ブロック農地・担い手関係担当者会議が開催されました**

11月2日に「愛知県白壁庁舎」において東海4県の東海ブロック農地及び担い手関係担当者会議が開かれました。会議開催に先立ち、全国農業会議所農地・組織対策部橋本和孝次長から農業委員会組織による「人・農地プラン」推進について、「夏の陣」から「秋・冬の陣」の推進等情勢報告がありました。

引き続き、協議事項にはいり、農地パトロール(利用状況調査)の実施状況と課題について、農地制度実施円滑化事業等農地関係対策の進捗状況と課題について、農地基本台帳の電子化状況と課題について、人・農地プランの取り組みと作成について、農業委員会と農業者等との意見交換会の実施状況について、担い手対策の進捗状況と課題について、それぞれ各県農業会議の取り組み状況が報告され、参加者から取り組み推進のための活発な質疑、意見交換が行われました。

## 平成24年度全国農業図書中日本ブロック会議が開催されました

11月6日から7日にかけて滋賀県草津市の「クサツエストピアホテル」において、全国農業会議所主催の平成24年度全国農業図書中日本ブロック会議が開催され、東海、近畿、北陸など15府県の事務局長など30名が参加されました。

会議では、全国農業会議所から平成24年度上期出版事業の実施状況についての説明を受けた後、協議事項として、(1)全国農業図書の普及推進について、(2)第4次中期普及目標の策定について、(3)全国農業図書普及対策の各県の取組状況について説明報告が行われ、その後、質疑及び意見交換が行われました。

## 今後の主な行事予定

- 12月3～4日 第22回東海・近畿・福井ブロック稲作経営者研究大会（福井県）
- 12月5日 平成24年度農業者年金加入推進セミナー（東京都）
- 12月6日 平成24年度全国農業委員会会長代表者集会（東京都）
- 12月10日 「農の雇用事業」指導者養成研修会（ウインクあいち）
- 12月15日 「農の雇用事業」事業説明・研修会（ウインクあいち）
- 12月17日 常任会議員会議（白壁庁舎）

## 新刊図書のご案内（全国農業図書）

- ・ 農業委員活動記録セット（24-30）単価 500円 11月19日刊行
- ・ 農業委員手帳（24-35）単価 600円 11月15日刊行
- ・ 施設園芸用地等の農地法上の取扱いと相続税・贈与税納税猶予制度  
（24-29）単価 70円 11月12日刊行
- ・ 外国人農業技能評価試験テキスト(初級) 改訂 耕種農業 施設園芸  
（24-31）単価1700円 11月16日刊行
- ・ 外国人農業技能評価試験テキスト(初級) 改訂 耕種農業 畑作・野菜  
（24-32）単価1700円 11月16日刊行

NATIONAL  
AGRICULTURAL  
NEWS

# 全国農業 新聞

この国の  
農と食を  
伝えます。

全国農業新聞は、  
農業者の公的代表組織である  
農業委員会系統組織が発行する  
週刊の農業総合専門紙です。

週刊 金曜日発行  
月600円、年7,200円  
(消費税込)

■購読の申込みは市町村農業委員会へお気軽に連絡ください。

■発行所  
全国農業会議所  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-25-5  
虎ノ門34MTビル  
電話 03-5251-3910  
ホームページ  
<http://www.nca.or.jp/shinbun>

## 農業者の視点でお届けします

- 1 特徴のある週刊新聞……………➔ 解説に力点をおいたニュース報道と企画編集
- 2 時代に鋭く斬り込む……………➔ 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- 3 経営に役立つ……………➔ 経営者マインドと実務情報
- 4 喜びや悩みを共感できる………➔ 読者の心に訴える
- 5 深みと味がある……………➔ 単なる情報で終わらない
- 6 読みやすく親しみやすい………➔ 老若男女が楽しく読める